

紙面から

- ひとり親家庭・障害児の養育者に手当を支給2
- 市民体育大会にご参加を4・5
- 子ども向けイベント
自然体験広場にあつまれ7
- 交通バリアフリー構想策定中
ワークショップに参加しませんか8



買い物袋の持参にご協力を

マイバッグ運動は、使い捨ての生活習慣を見直す運動です。昨年7月から、公募市民からなるマイバッグ運動協力員の皆さんが、市内大手スーパー等で呼びかけを行うなど、市民・事業所（スーパー・商店会等）・行政が連携し、ごみゼロ社会を目指す施策のひとつとして取り組んできました。

出口調査の結果（下図参照）少しずつですがマイバッグ持参率が向上しています。市では今後も事業者への協力要請や、さらなる取り組みを進めていきます。お買い物の際は、ぜひマイバッグ持参にご協力ください。

毎月5日はマイバッグデー

マイバッグ持参率



マイバッグ持参率 = $\frac{\text{マイバッグのみ人数} + \text{マイバッグとレジ袋両方人数}}{\text{全体人数}} \times 100$

マイバッグ 使って断る レジ袋

マイバッグ運動啓発標語を募集します

応募された方にはマイバッグを差し上げます。また、お送りいただいた標語は、今後の啓発活動に利用していく予定です。ぜひ、ご応募ください。

▽応募方法 8月16日(月)（必着）までにハガキかFAXで。住所、氏名、電話番号、標語を記入し、〒191-0022 新井210の2クリンセンター内ごみゼロ推進課（FAX 586・6606）へ

マイバッグ運動協力員を募集

スーパー等でマイバッグの持参を呼びかけます。この運動を継続していくためには、市民皆さんの協力が必要です。呼びかけにご協力いただける方を広く募集します。詳しくはお問い合わせください。

商店や会社等から出る「事業系ごみ」は正しい出し方で



商店・会社等の事業所や、教育・福祉などの行政・公共公益施設から発生するごみは全て事業系ごみです。この「事業系ごみ」は、事業者の責任で適正処理することが廃棄物処理法等関係法令で義務付けられています。もう一度、あなたのお店や会社から出るごみの出し方を確認してください。

1回の排出量が90リットル以下であれば市で収集します

1回の排出量が90リットル以下の「少量排出事業所」は、事業系指定収集袋を利用して市の収集に出せます。ただし、事前に「収集依頼書」（市指定様式）の提出が必要です。

1回の排出量が90リットルを超える事業所は、市の収集でなく、市が許可した「一般廃棄物収集運搬業者」に収集を依頼するか、自らクリンセンターに持ち込むこともできます（処理費は10キリ当たり250円。家庭から排出される品や量に準じるものに限ります）。許可業者等、詳細はごみゼロ推進課へお問い合わせください。

市の収集は事業系指定袋に入っている物に限ります

事業系指定収集袋は、可燃ごみ用・不燃ごみ用とも次のとおり

りです。
・小袋：15リットル相当／1セット（10枚）1千円
・特大袋：45リットル相当／1セット（10枚）3千円
事業系指定袋の価格は、そのごみを収集・運搬・処分するためにかかる費用に相当します。市民生活を営む過程で発生するごみを処理するための「家庭系指定袋」では出せません。ごみ処理にかかる費用負担が異なるためです。この事業系指定袋は市指定ごみ袋取扱店に在庫を確認のうえ購入してください。
※取扱店は「ごみ・資源分別カレンダー」の裏表紙に掲載されています

排出状況の確認と訪問指導を行っています

「事業系ごみ」を家庭用の指定収集袋で排出している事業所をなくすため、市では調査を行っています。不適切な排出を確認した場合は、そのごみを収集しません。また、事業所から出る「粗大ごみ」や「産業廃棄物」も、市では収集しません。クリンセンターへの自己搬入も出来ませんのでご注意ください。

問合せ先
ごみゼロ推進課
☎ 581・0444

平山地区放火事件のおわび

日野市平山地区における放火事件の被害者が逮捕されたことについては、多くの方々のご努力の賜と感謝いたしております。

しかしながら、被疑者は、現在日野市消防団の団員であり、誠に遺憾なことであります。市民の生命と財産を守るべき消防団員

がこのような事態を起こしたことについて、多くの市民の皆様方にご迷惑をおかけし、皆様からの信用を失墜してしまつたことに対し、心からおわび申し上げます。今後、このようなことが生じないように努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

日野市長 馬場弘融
日野市消防団長 駒沢藤一